



マルダイに展示されている朝青龍関の優勝額

## 横網 朝青龍の迫力 マルダイで優勝額展示 来月の豆まきに来社も

角界で活躍する横網・朝青龍関が2月2日に富士市大洲のマルダイ(株)で豆まきを行う予定だが、それを前に同社屋外で横網の優勝額を展示している。一般人々も閲覧可能なため話題を呼んでいる。前社長の深沢一元さんが4年前の九州場所で6場所連続優勝を決めた朝青龍関を祝った縁を皮切りに横網との交流が進み、3年ぶりの来社が実現した。その際、優勝額を借りる厚意も受けたため、大関時代から現在の横網までの7枚を借り受け、現在はそのうち3枚を展示している。

優勝額は高さ3・15尺、横幅2・25尺と巨大サイズ。迫力ある額

絵が来場者を圧倒している。また、2月2日には恒例の初売りとして木材展示会が開催されるが、朝青龍関が来社、午後2時ごろの豆まきに参加する予定。深沢さんは「今、不況だからこそ、さらなる優勝を目指す横網朝青龍関から元気をもらい、地域を盛り上げていきたい」と話してい

る。閲覧希望の人は同社正門で断りを入れた上で入社を。アポロスカイラブ3号の宇宙生活の生写真パネルも同時展示中。問い合わせは同社(電0545-3535)。